

# 12

# アジア 経済

## アフリカ特集号

モロッコ憲法に関する一考察

安藤勝美

第2次世界大戦と東アフリカ農産物販売機構の変化

——一括買付け方式の及ぼした影響を中心として—— 吉田昌夫

低開発国の1次産品輸出における矛盾

——アフリカにおける小農輸出経済に関する試論—— 細見真也

南アフリカの人種差別への一視角

——経済的側面からのアプローチ—— 林晃史

アルジェリアにおける伝統農業の「近代化」

——予備的考察—— 宮治一雄

東アフリカにおける経済協力の問題点と展望

Y・Z・チェシミラ

西部アフリカにおける農業経済発展の展望

——特にオイル・パーム産業について—— S・La・アンヤネ

ローデシアの土地配分・土地保有に関する覚書 星昭

### 資料

ケニアの土地改革について

細見真也

イギリス社会人類学とアフリカ研究

山口昌男

近着文献紹介

図書資料部

### 書評

アジア経済研究所

1966

# アジア経済研究所

## —— アジア経済調査研究双書 ——

アジア経済調査研究双書 第127集

### 経済援助の研究

原 覚 天 編

A 5 判 570頁・価 1750円

「米英仏独にソ連を加えての各論や、各国の援助機構についての整理は、座右にもつものには便利である」と朝日新聞書評欄で都留重人氏に紹介され、また朝日ジャーナル誌においても絶賛を受けた注目すべき共同研究の成果。

研究参考資料 第103集

### 標準国際貿易商品分類〔改訂版〕内容例示品目

アジア経済研究所編

B 5 判 1230頁・価 2000円

Standard International Trade Statistics, Revised (SITC,R) は貿易統計の品目分類の基準として多くの国に用いられている。本書は、これら1312分類について、それぞれの例示品目、約3万品目を翻訳発表。

研究参考資料 第98集

### アメリカの援助政策

丸 山 静 雄 編

B 5 判 220頁・価 500円

朝日新聞書評欄で「余剰農産物による援助が、かえって被援助国の農業を疲弊させたという具体的指摘もあり、問題点の追求は一段と鋭い……」と紹介されたアメリカの援助政策への追求。その歴史と評価、展開と実績にわけ詳述する。

翻訳シリーズ 第21集

### DAC 加盟国の開発援助 1965年年次審査

DAC 議長報告

A 5 判 160頁・価 500円

本書は、経済協力開発機構(OECD)の主要な委員会の一つである開発援助委員会(DAC)による1965年年次審査の結果を、同委員長が報告書としてとりまとめ委員会が採択したものを翻訳する。なお、63年、64年度のものも公開されている。

発 売 所

東京大学出版会

東京・文京・東大構内

振替 東京 59964

TEL (811) 8814

## ア ジ ア 経 済 第7巻 第12号

ま え が き .....	2
モロッコ憲法に関する一考察 .....	安 藤 勝 美.... 4
第2次世界大戦と東アフリカ農産物販売機構の変化 —— 一括買付け方式の及ぼした影響を中心として —— .....	吉 田 昌 夫.... 20
低開発国の1次産品輸出における矛盾 —— アフリカにおける小農輸出経済に関する試論 —— .....	細 見 真 也.... 41
南アフリカの人種差別への一視角 —— 経済的側面からのアプローチ —— .....	林 晃 史.... 55
アルジェリアにおける伝統農業の「近代化」 —— 予 備 的 考 察 —— .....	宮 治 一 雄.... 68
東アフリカにおける経済協力の問題点と展望 .....	Y・Z・チェシミラ.... 82
西部アフリカにおける農業経済発展の展望 —— 特にオイル・パーム産業について —— .....	S・La・アンヤネ.... 92
ローデシアの土地配分・土地保有に関する覚書 .....	星 昭.... 103
資 料	
ケニアの土地改革について .....	細 見 真 也.... 122
イギリス社会人類学とアフリカ研究 .....	山 口 昌 男.... 129
書 評	
R・スツェレスツェウスキー著『ガーナ経済の構造変化』 .....	細 見 真 也.... 134
M・ユーデルマン著『アフリカ人農業』 .....	星 昭.... 136
K・エンクルマ著『帝国主義の最終段階としての新植民地主義』 .....	谷 本 圭 介.... 139
近 着 文 献 紹 介 .....	図 書 資 料 部.... 143
『アジア経済』総目次 (第7巻第1号~第12号) .....	145
所 報 .....	149

## ま え が き

「アフリカの年」といわれた1960年から早くも6年になるが、世界の政治・経済におけるアフリカの役割はますます大きくなりつつあり、今日ほどアフリカ研究の必要が切実かつ広範に叫ばれているときはなからう。ところで、アフリカ研究が、さまざまな制約から文字どおり暗夜に手さぐりの状態で始められねばならなかったわが国においても、ここ数年来、研究者の主体的問題意識に基づき、「アフリカとの直接的コミュニケーションによる正確で客観的な判断を下す」べき時機がようやく熟しつつあるように思われる。

しかし、アフリカは何といっても巨大な大陸であり、研究対象としてもはなはだしい多様性をはらんでいる。世界の著名な「アフリカニスト」たちも、限られた専門分野から、限られた対象地域を分析することによって、アフリカを語っている場合が多い。したがって、「アフリカ研究」という言葉に包摂される意味・内容について、いまのところわれわれは明確な枠を定めがたいし、アフリカ全体を一般化して論ずることにしばしば当惑し、逡巡せざるをえないのである。

ただ、ここでわれわれにも再確認できることは、「アフリカについては事実に関する知識の欠如が広く存在し、それが理論の措定と適用を妨げ、また、アフリカ諸国自身の発展を遅らせている」(W. P. Stolper)ということである。したがって、われわれとしては、なによりもまず、アフリカに関する事実を正しく集積して知識の空白を埋めること、さらに極言すれば、性急な理論化を避けて、あくまで忍耐強く事実の分析を続けること、が当面の課題でなければならぬ、と考える。経済の分野では、「近年における理論の発展は tool makers と tool users との区分を不明確にした」といわれるが、アフリカ研究一般においても、なお当分の間 tool users の役割が低下することはない、と思われるからである。

本特集号は、主として当研究所のアフリカ調査室の数少ないメンバーによる作業の成果をまとめたものであるが、各員はいずれも専門領域を異にし、また研究者として未熟なものばかりであったため、相互間で十分理論上の統一課題が定められなかったことをまずお断りせねばならない。ただ、アフリカ研究への出発点として、「アフリカに対する西欧諸国のインパクトとそれに対する反応」という「非植民地化」の力学を大まかに想定し、政治的独立後の経済的自立の条件の中から、各担当地域内で最も重要と思われる事項をそれぞれ選定・追求する、という基本的姿勢だけは共通に確認しえたのではないかと思う。

安藤勝美の「モロッコ憲法に関する一考察」は、執筆者が2カ年のモロッコ滞在から実感として持ち帰った問題意識を原理的に整理したものであるが、特に政治主権の所在に関して同国憲法に伝統的要素を多く残存させたイスラム教の強い影響に注目し、経済的現実がそれとどう矛盾するかを明らかにしようとしている。今後は、同国の関連実定法についてさらに詳細な検討を行なうことが課題とされている。

吉田昌夫の「第2次世界大戦と東アフリカ農産物販売機構の変化」は、執筆者が3カ年のウガンダ滞在



中、特に関心をもち続けてきた東アフリカ流通機構の問題を、旧宗主国側と現地側との対応関係において、商品別に論じたものである。これが、アフリカ人小農輸出の将来をどう規定するかは、さらに広範な角度から改めて論じられることとなろう。

細見真也の「低開発国の1次産品輸出における矛盾」は、執筆者が2カ年のガーナ滞在および1カ月半の東アフリカ出張から得た研究成果を、アフリカ諸国の問題として敷衍し、さらにそれを「1次産品分科会」の志向する低開発国一般の視角に拡大して論じたものである。論旨は、アフリカ諸国の熱帯1次産品輸出は、価格への下限抵抗力が弱く、生産性水準が低いため、十分伸長せず、また、その低生産性を克服するには再び輸出拡大が必要だ、というにある。今後は、この矛盾を前提とした上で、農業の低生産性改善策を、技術革新・投資効果の両側面から実証することが課題とされている。

林晃史の「南アフリカの人種差別の一視角」は、従来とかく政治的側面からとらえられてきた人種差別を経済的側面から分析しようとする試みであり、特に「地域的隔離」と「ボーダー・インダストリー」の問題をめぐる、一見非合理的に見える人種差別の現象の中にも「経済的利害状況」が強く作用していることを明らかにしようとしている。本稿は執筆者が文献調査の過程で培ってきた問題意識を発展・提示したものであり、近く派遣される現地においてそれを具体的に検証することが望まれている。

宮治一雄の「アルジェリアにおける伝統農業の近代化」は、過去に行なった作業の部分的要約であるが、執筆者にとっては、「アルジェリア社会主義論」と「マグレブ社会経済史」という2研究目標の接点に位置さるべきものである。本稿では、国民経済建設と経済的自立達成の過程において、植民地期からの「近代化」遺産を継承する必要と、植民地的「近代化」遺制を打破する必要との間に存する根本的矛盾が結論的に指摘されており、今後は、上記テーマの研究を進めながら、海外派遣の機会をとりえて、具体的に「近代化」過程を明らかにすることが課題とされている。

星昭の「ローデシアの土地配分・土地保有に関する覚書」は、アフリカの「居住植民地」における「移住労働制度」研究の重要性を認識することから生まれた派生的・予備的作業であり、アフリカ人労働力流出を促進、または減退させる要因としての土地制度の実態と性格を明らかにしようとしたものである。今後は、「熱帯・投資植民地」との比較において、かかる条件下の労働市場がいかに機能するかを実証的に結論づける仕事が残されている。

以上のとおり、所内執筆者の論文はいずれも「試論」の域を出るものではなく、研究の主要部分はより多く将来に残されている。にもかかわらず、われわれがあえて「アフリカ特集号」を出すことにしたのは、研究の過程においてそれがなんらかの区切りとなるかもしれぬと考えたからである。したがって、各論文は「読者のため」よりも、むしろ「執筆者自身のため」に書かれた、といえよう。大方のご叱正とご批判を期待する所以である。なお、本特集号に対して好意的に外国より稿を寄せられたチェシミラ、アンヤネの両氏、目下休職中にもかかわらず進んで筆を執られた吉田昌夫君、およびつねづね討論の形で室員一同がご教示をいただいている「アフリカ研究会」の矢内原勝、富岡倍雄、山口昌男および川田順造の各委員に心から謝意を表したい。

(星 昭)

# アジア経済研究所 研究参考資料

## インド

2	インドの経営代理制度	金田	田近	二編	300円
51	インドの経済発展と教育投資	天城	地生	編著	1200円
52	インド経済総合モデルの研究	福地	崇旭	編著	1350円
79	インドの資本財輸入にともなう金融的側面	天岩	村一	編著	780円
83	インド農業の基本問題	西村	甲著	編著	450円
84	インドの人的資源と教育投資	天城	一著	編著	1100円
97	インドの経済発展の諸問題 I	加藤	長雄	編著	500円
105	対インド開発輸入	原吾	郎編	編著	800円

## パキスタン

95	西パキスタン農業の機械化	平島	成望	著	650円
----	--------------	----	----	---	------

## ビルマ

66	アジアの経済法Ⅱ — ビルマ・セイロン —	内田	力蔵	編	800円
----	-----------------------	----	----	---	------

## タイ

39	タイの公営企業関係法	吉川	英男	訳編	300円
74	タイの産業開発と合弁企業	神谷	克巳	編著	800円
82	タイの農業開発	田中	治著	著	240円
94	タイの経済発展と教育計画	天城	一著	編著	750円

## セイロン

31	セイロンの経済開発	栗本	弘編	1000円
66	アジアの経済法Ⅱ — ビルマ・セイロン —	内田	力蔵編	800円

## インドネシア

5	インドネシアの統計	ファン・デ・グラフ	著	450円
60	インドネシアの経済開発と国際収支	板垣	一編	750円
70	インドネシア貿易統計1951~1961	アジア経済研究所	編	1000円
78	インドネシア、マレーシアにおけるプランテーションの発展と変貌	深沢	八郎編	160円
89	フィリピン、インドネシアの電力事情	海外電力調査会	編	250円
93	インドネシア経済の計量経済学的分析	福地	崇生著	1000円

## フィリピン

14	フィリピンの経済開発	馬場	啓之助編	700円
18	フィリピンの労働事情	隅谷	三喜編	1400円
43	フィリピンの土地制度と小作立法の展開	滝川	勉著	150円
48	フィリピンおよび北ボルネオの木材資源	宮原	省久編	500円
85	中部ルソンの米作農村	高橋	彰著	380円
89	フィリピン、インドネシアの電力事情	海外電力調査会	編	250円
100	フィリピンの糖業	滝川	勉編	400円

発売  
東京大学出版会

東京・文京・東大構内  
振替 東京 五九九六四

© アジア経済研究所 1966 発行所 東京都新宿区市ヶ谷本村町42 アジア経済研究所 電話東京353局4231番(代表)  
販売所 東京大学出版会 東京都文京区本郷7丁目3番1号 電話東京811局8814番 振替東京59964番  
印刷所 株式会社 第二印刷所 東京都江東区佐賀町1丁目14番地 電話東京641局6191番  
昭和41年12月15日発行(毎月1回15日発行) 昭和37年5月12日 第三種郵便物認可通巻第55号  
昭和38年10月4日 国鉄東局特別扱承認雑誌1655号

## ア ジ ア 経 済

Vol. VII, No. 12

AJIA KEIZAI

December 1966

### A SPECIAL ISSUE ON AFRICA

#### Contents

##### Preface

A Reflection on the Moroccan Constitution.....Katsumi Andō

Changes in the Marketing Organization of Agricultural

Products in East Africa since World War II——

with Special Reference to the Effects of the Bulk Purchase .....Masao Yoshida

The Dilemma in the Exports of Primary Products of

Developing Countries: A Preliminary Essay

in the Peasant Export Economy in Africa.....Shin'ya Hosomi

Racial Discrimination in South Africa——as Viewed from Economic Aspects .....Kōji Hayashi

“Modernization” of Indigenous Agriculture in Algeria: A Preliminary Study....Kazuo Miyaji

The Problems and Scope of Economic Cooperation in East Africa .....Y. Kyesimira

Prospects for Economic Development of Agriculture in Western Africa

with Special Reference to the Oil Palm Industry .....S. La-Anyane

The Apportionment and Tenure of Land in Rhodesia .....Akira Hoshi

##### Materials

Land Reform in Kenya.....Shin'ya Hosomi

Social Anthropology and African Studies in the U. K. ....Masao Yamaguchi

##### Book Reviews

R. Szereszewski, *Structural Changes in the Economy of Ghana 1891~1911*.....Shin'ya Hosomi

M. Yudelman, *Africans on the Land*.....Akira Hoshi

K. Nkrumah, *Neo-Colonialism: The Last Stage of Imperialism*.....Keisuke Tanimoto

##### Introduction of Newly-Received Books

##### Report on the Institute

Monthly Journal of

The Institute of Asian Economic Affairs

24 Ichigaya-Hommura-chō Shinjuku-ku, Tokyo, Japan.